|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| １  目標・内容  の取扱い | 算数科の目標を達成するために、適切な内容が取りあげられているか。  ○　数量や図形等の基礎的・基本的な概念や性質の理解や日常の事象を数理的に処理する技能について  ○　見通しをもち道筋立てて考察する力、基礎的・基本的な内容から統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を表す力について   * 学んだことを生活や学習に活用しようとする態度について |
| ２  人 権 の  取 扱 い | 人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われているか。  ○　人権への配慮について  ○　ユニバーサルデザインに関する配慮について |
| ３  内容の程度 | 児童の発達段階を考慮した内容となっているか。  ○　文章の記述や分量について  ○　写真、挿絵、図、表などの資料について  ○　具体物の操作、日常の事象の観察など、具体的な体験を伴う学習について |
| ４  組織・配列 | 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されているか。  ○　単元配列について  ○　単元構成について  ○　ページの構成（本文・写真・挿絵・図・表などの配置）について |
| ５  創意工夫 | 数学的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されているか。  ○　各単元の学習のはじめに扱う素材について  ○　問題を自立的、協働的に解決する学習活動について |
| ６  補充的な  学　習・  発展的な  学　習． | 学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、児童の興味・関心に応じて学習を深め広げたりすることができるよう配慮されているか。  ○　資料やコラムなど |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| １  目標・内容  の取扱い | 算数科の目標を達成するために、適切な内容が取りあげられているか。  ○　数量や図形等の基礎的・基本的な概念や性質の理解や日常の事象を数理的に処理する技能について  ○　見通しをもち道筋立てて考察する力、基礎的・基本的な内容から統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を表す力について  ○　学んだことを生活や学習に活用しようとする態度について |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | 算数科の目標を達成するために、適切な内容が取りあげられている。  ○　基礎的・基本的な概念や性質について理解し、日常の事象を数理的に処理する技能が身につくよう、適切な課題が設定されている。  ○　数学的な見方・考え方を「虫めがねマーク」で示すこと等で、見通しをもち、筋道を立てて、思考・判断・表現することができる内容となっている。  ○　「いかしてみよう」で、学習したことを生活の中で生かすことができるよう取り扱われている。 |
| 大日本 | 算数科の目標を達成するために、適切な内容が取りあげられている。  ○　基礎的・基本的な概念や性質について理解し、日常の事象を数理的に処理する技能が身につくよう、適切な課題が設定されている。  ○　数学的な見方・考え方を「ひらめきアイテム」として示すこと等で、見通しをもち、筋道を立てて、思考・判断・表現することができる内容となっている。  ○　低学年での「おうちで算数」や「算数たまてばこ」で、学習したことを生活の中で生かすことができるよう取り扱われている。 |
| 学　図 | 算数科の目標を達成するために、適切な内容が取りあげられている。  ○　基礎的・基本的な概念や性質について理解し、日常の事象を数理的に処理する技能が身につくよう、適切な課題が設定されている。  ○　数学的な見方・考え方を複数のキャラクターで示すこと等で、見通しをもち、筋道を立てて、思考・判断・表現することができる内容となっている。  ○　「活動‼」「アクティブ‼」「深めよう」で、学習したことを生活の中で生かすことができるよう取り扱われている。 |
| 教　出 | 算数科の目標を達成するために、適切な内容が取りあげられている。  ○　基礎的・基本的な概念や性質について理解し、日常の事象を数理的に処理する技能が身につくよう、適切な課題が設定されている。  ○　数学的な見方・考え方を、「なるほどマーク」で示すこと等で、見通しをもち、筋道を立てて、思考・判断・表現することができる内容となっている。  ○　「学んだことをつかおう」や「広がる算数」で、学習したことを生活の中で生かすことができるよう取り扱われている。 |
| 啓林館 | 算数科の目標を達成するために、適切な内容が取りあげられている。  ○　基礎的・基本的な概念や性質について理解し、日常の事象を数理的に処理する技能が身につくよう、適切な課題が設定されている。  ○　数学的な見方・考え方を、子どもの考えや吹き出し、単元末の「ふりかえろう」で示すこと等で、見通しをもち、筋道を立てて、思考・判断・表現することができる内容となっている。  ○ 「わくわく算数ひろば」で、学習したことを生活の中で生かすことができるよう取り扱われている。 |
| 日　文 | 算数科の目標を達成するために、適切な内容が取りあげられている。  ○　基礎的・基本的な概念や性質について理解し、日常の事象を数理的に処理する技能が身につくよう、適切な課題が設定されている。  ○　数学的な見方・考え方を「鍵マーク」で示すこと等で、見通しをもち、筋道を立てて、思考・判断・表現することができる内容となっている。  ○ 「ハロー！算数」「Hello！Math」で、学習したことを生活の中で生かすことができるよう取り扱われている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ２  人 権 の  取 扱 い | 人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われているか。  ○　人権への配慮について  ○　ユニバーサルデザインに関する配慮について |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | ○　文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。例えば、登場する男女の数や服装の色などが偏りのないように配慮されている。また、４年「角の大きさ」では、スロープの角度が取り扱われている。  ○　ユニバーサルデザインの観点から、フォントや配置、色、図などが工夫され、すべての児童にとって扱いやすいよう配慮されている。 |
| 大日本 | ○　文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。例えば、登場する男女の数等に偏りがなく、また、挿絵のキャラクターの一人に、外国にルーツがあると思われる子どもが登場している。また、数学的に点字のしくみを紹介している。  ○　ユニバーサルデザインの観点から、フォントや配置、色、図などが工夫され、すべての児童にとって扱いやすいよう配慮されている。 |
| 学　図 | ○　文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。例えば、登場する男女の数や役割に偏りがないよう配慮されている。また、外国にルーツがあると思われる児童のイラストも掲載されている。  ○　ユニバーサルデザインの観点から、フォントや配置、色、図などが工夫され、すべての児童にとって扱いやすいよう配慮されている。 |
| 教　出 | ○　文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。例えば、登場する男女の数や役割に偏りがないよう配慮されている。また、６年では、数学的に点字のしくみを紹介している。  ○　ユニバーサルデザインの観点から、フォントや配置、色、図などが工夫され、すべての児童にとって扱いやすいよう配慮されている。 |
| 啓林館 | ○　文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。例えば、登場する男女の数や役割に偏りがないよう配慮されている。また、車いすを使用している子どもや車いすマラソン大会のイラストが掲載されている。  ○　ユニバーサルデザインの観点から、フォントや配置、色、図などが工夫され、すべての児童にとって扱いやすいよう配慮されている。 |
| 日　文 | ○　文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。例えば、登場する男女の数や役割に偏りがないよう配慮されている。また、外国にルーツがあると思われる児童のイラストも掲載されている。  ○　ユニバーサルデザインの観点から、フォントや配置、色、図などが工夫され、すべての児童にとって扱いやすいよう配慮されている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ３  内容の程度 | 児童の発達段階を考慮した内容となっているか。  ○　文章の記述や分量について  ○　写真、挿絵、図、表などの資料について  ○　具体物の操作、日常の事象の観察など、具体的な体験を伴う学習について |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | ○　文章の記述や分量について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。１年生の最初の２単元は、サイズの大きな分冊としている。  ○　写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階を考慮したものになっている。例えば、１年では、基本となる数の合成・分解の関係を捉えさせるため、具体的な活動から抽象的な思考へと、段階的に適切な資料が取り扱われている。  ○　児童の発達段階に応じて、具体的な体験を伴う学習活動が行われるよう配慮されている。例えば、１年「かたちであそぼう」では、箱やボールなどの様々な形に触れる活動、５年では、巻末資料の三角形や四角形を用いて角度や合同について考える活動などが取り扱われている。 |
| 大日本 | ○　文章の記述や分量について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。  ○　写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階を考慮したものになっている。例えば、１年では、基本となる数の合成・分解の関係を捉えさせるため、具体的な活動から抽象的な思考へと、段階的に適切な資料が取り扱われている。  ○　児童の発達段階に応じて、具体的な体験を伴う学習活動が行われるよう配慮されている。例えば、３年では、校庭のトラックで１kmを歩く時間を予想してから実際に歩いて時間を計る活動、５年では、巻末資料の三角形や四角形を用いて角度や合同について考える活動などが取り扱われている。 |
| 学　図 | ○　文章の記述や分量について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。  ○　写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階を考慮したものになっている。例えば、１年では、基本となる数の合成・分解の関係を捉えさせるため、具体的な活動から抽象的な思考へと、段階的に適切な資料が取り扱われている。  ○　児童の発達段階に応じて、具体的な体験を伴う学習活動が行われるよう配慮されている。例えば、１年「たしざん」「ひきざん」では、カード取りやカード合わせ、大きさ比べなどの計算カードを用いた活動、５年では、巻末資料の三角形や四角形を用いて角度や合同について考える活動などが取り扱われている。 |
| 教　出 | ○　文章の記述や分量について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。  ○　写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階を考慮したものになっている。例えば、１年では、基本となる数の合成・分解の関係を捉えさせるため、具体的な活動から抽象的な思考へと、段階的に適切な資料が取り扱われている。  ○　児童の発達段階に応じて、具体的な体験を伴う学習活動が行われるよう配慮されている。例えば、２年「長さ」の単元では、ブロック・乾電池・１円玉・クレヨンなど身の回りの具体物を操作する活動、５年では、巻末資料の三角形や四角形を用いて角度や合同について考える活動などが取り扱われている。 |
| 啓林館 | ○　文章の記述や分量について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。  ○　写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階を考慮したものになっている。例えば、１年では、基本となる数の合成・分解の関係を捉えさせるため、具体的な活動から抽象的な思考へと、段階的に適切な資料が取り扱われている。  ○　児童の発達段階に応じて、具体的な体験を伴う学習活動が行われるよう配慮されている。例えば、１年「ふえたりへったり」では、見開き左ページの人数が増減する場面の挿絵を見ながら右ページにブロックで操作する活動、５年では、巻末資料の三角形や四角形を用いて角度や合同について考える活動などが取り扱われている。 |
| 日　文 | ○　文章の記述や分量について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。  ○　写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階を考慮したものになっている。例えば、１年では、基本となる数の合成・分解の関係を捉えさせるため、具体的な活動から抽象的な思考へと、段階的に適切な資料が取り扱われている。  ○　児童の発達段階に応じて、具体的な体験を伴う学習活動が行われるよう配慮されている。例えば、３年「時間の計算と短い時間」では、ストップウォッチを使って短い時間をゲーム的に体験する活動、５年では、巻末資料の三角形や四角形を用いて角度や合同について考える活動などが取り扱われている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ４  組織・配列 | 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されているか。  ○　単元配列について  ○　単元構成について  ○　ページの構成（本文・写真・挿絵・図・表などの配置）について |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。  ○　年間を通して、各領域を学習できるよう配列されている。単元配列を一覧で確認することができる巻頭のもくじでは、それまでに学習した関連単元を明示するとともに、それ以降に学習する関連単元も示されている。  ○　生活の中にある算数やこれまでに学習してきたことなどについて話し合いながらめあてをつくり、課題解決的に問題に取り組んでいく構成になっている。単元の終わりのまとめには「いかしてみよう」「たしかめよう」「つないでいこう算数の目」などが配置されている。  ○　効果的な指導が行われるよう、本文・写真・挿絵・図・表などが適切に配置されている。他教科と関連している箇所をマークで示している。 |
| 大日本 | 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。  ○　年間を通して、各領域を学習できるよう配列されている。単元配列を一覧で確認することができる巻頭のもくじでは、それまでに学習した関連単元を明示するとともに、それ以降に学習する関連単元も示し、学習する内容に応じて単元番号が色分けされている。  ○　身近な生活の中で出てくる疑問を導入で扱い、課題解決的に問題に取り組んでいく構成となっている。単元の終わりには「たしかめ問題」「読み取る力をのばそう」などが配置されている。  ○　効果的な指導が行われるよう、本文・写真・挿絵・図・表などが適切に配置されている。他教科と関連している箇所をマークで示している。 |
| 学　図 | 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。  ○　年間を通して、各領域を学習できるよう配列されている。単元配列を一覧で確認することができる巻頭のもくじでは、それまでに学習した関連単元が明示されている。  ○　「もんだい」で生活の中や算数の中から問題を見つけ、「知りたいな」や「くらべたいな」などの中で、課題解決的に問題に取り組んでいく構成となっている。単元の終わりには「たしかめたいな」「やってみたいな」などが配置されている。  ○　効果的な指導が行われるよう、本文・写真・挿絵・図・表などが適切に配置されている。 |
| 教　出 | 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。  ○　年間を通して、各領域を学習できるよう配列されている。単元配列を一覧で確認することができる巻頭のもくじでは、それまでに学習した関連単元が明示されている。  ○　各単元前の「どんな学習がはじまるのかな？」で身近な題材から問題を見つけ、課題解決的に問題に取り組んでいく構成となっている。単元ごとに学習したことを日常場面に活用する「学んだことをつかおう」などが設定されている。  ○　効果的な指導が行われるよう、本文・写真・挿絵・図・表などが適切に配置されている。 |
| 啓林館 | 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。  ○　年間を通して、各領域を学習できるよう配列されている。単元配列を一覧で確認することができる巻頭のもくじでは、それまでに学習した関連単元が明示されている。  ○　各単元の導入のページで、身のまわりの疑問からみんなで考える問題を設定し、課題解決的に問題に取り組んでいく構成となっている。単元の終わりには「学びのまとめ」として「たしかめよう」「ふりかえろう」「やってみよう」などが配置されている。  ○　効果的な指導が行われるよう、本文・写真・挿絵・図・表などが適切に配置されている。 |
| 日　文 | 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。  ○　年間を通して、各領域を学習できるよう配列されている。単元配列を一覧で確認することができる巻頭のもくじでは、それまでに学習した関連単元を明示するとともに、以降の学年で学習する関連単元も示されている。  ○　「次の学習のために」で、これまでに学んだことをふりかえった後、単元が始まる。単元の導入は、操作活動や身の回りの観察などで課題を見つけ、課題解決的に問題に取り組んでいく構成となっている。単元の終わりには「たしかめポイント」などが配置されている。  ○　効果的な指導が行われるよう、本文・写真・挿絵・図・表などが適切に配置されている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ５  創意工夫 | 数学的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されているか。  ○　各単元の学習のはじめに扱う素材について  ○　問題を自立的、協働的に解決する学習活動について |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | 数学的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。  ○　単元の導入では、日常の事象や児童の生活体験を基にした題材が扱われている。例えば、５年「単位量あたりの大きさ」の単元では、学校のうさぎ小屋を扱い、「うさぎ小屋の面積」と「うさぎの数」の二つの量が扱われている。  ○　児童が主体的に考えられる課題が設定され、その課題解決に向けて、吹き出しでの問いかけやアドバイスで、自分で考えることや、友だちと話し合うことが促されている。また、「学びのとびら」や「今日の深い学び」で学習の進め方が説明されている。 |
| 大日本 | 数学的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。  ○　単元の導入場面で「じっくり深く、学び合おう！」とタグ付けされた問題があり、単元の中で、特によく考えて、話し合うべき問題を明示している。例えば、５年「単位量あたりの大きさ」の単元では、遠足でお弁当を食べる場面を扱い、「シートの枚数」と「子どもの人数」の二つの量が扱われている。  ○　児童が主体的に考えられる課題が設定され、その課題解決に向けて、吹き出しでの問いかけやアドバイスで、自分で考えることや、友だちと話し合うことが促されている。また、「算数まなびナビ」で学習の進め方が説明されている。 |
| 学　図 | 数学的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。  ○　単元前に「？を発見」が設定されており、日常生活などの身近なことや既習事項から問題が発見できるようマンガ形式の導入を用いている。例えば、５年「単位量あたりの大きさ」の単元では、子どもがマットの上に乗っている場面を扱い、「マットの数」と「子どもの人数」の二つの量が扱われている。  ○　児童が主体的に考えられる課題が設定され、その課題解決に向けて、吹き出しでの問いかけやアドバイスで、自分で考えることや、友だちと話し合うことが促されている。また、「３つの学び方で学習を進めよう」で学習の進め方が説明されている。 |
| 教　出 | 数学的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。  ○　２年以上では、単元導入時の「どんな学習がはじまるかな？」で、身のまわりの具体物を多く取り入れた問題場面を設定している。例えば、５年「単位量あたりの大きさ」の単元では、子ども会の旅行での宿泊場面を扱い、「畳の枚数」と「子どもの人数」の二つの量が扱われている。  ○　児童が主体的に考えられる課題が設定され、その課題解決に向けて、吹き出しでの問いかけやアドバイスで、自分で考えることや、友だちと話し合うことが促されている。また、「算数をはじめよう！」で学習の進め方が説明されている。 |
| 啓林館 | 数学的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。  ○　新しい学習のはじめに「単元のとびら」を設定し、日常の事象や既習事項から問題を見出し、問題解決に取り組むように構成されている。例えば、５年「単位量あたりの大きさ」の単元では、旅行での宿泊場面を扱い、「畳の枚数」と「子どもの人数」の二つの量が扱われている。  ○　児童が主体的に考えられる課題が設定され、その課題解決に向けて、吹き出しでの問いかけやアドバイスで、自分で考えることや、友だちと話し合うことが促されている。また、「学習の進め方」で学習方法が説明されている。 |
| 日　文 | 数学的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。  ○　単元の導入では、児童の興味や好奇心に働きかけるような題材が扱われている。例えば、５年「単位量あたりの大きさ」の単元では、公園でシートを広げている場面を扱い、「シートの枚数」と「子どもの人数」の二つの量が扱われている。  ○　児童が主体的に考えられる課題が設定され、その課題解決に向けて、吹き出しでの問いかけやアドバイスで、自分で考えることや、友だちと話し合うことが促されている。また、「学び方ガイド」で学習の進め方が説明されている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ６  補充的な  学　習・  発展的な  学　習 | 学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、児童の興味・関心に応じて学習を深め広げたりすることができるよう配慮されているか。  ○　資料やコラムなど |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | ○　単元末や巻末に「たしかめよう」「つないでいこう 算数の目」「ほじゅうのもんだい」「おもしろ問題にチャレンジ」「ふりかえりコーナー」などが設けられ、学習を振り返り、深めることができるよう配慮されている。  なお、Ｄマークのあるページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 |
| 大日本 | ○　単元末や巻末に「復習」「ふくろう先生のなるほど算数教室」「プラスワン」「前学年までのまとめ」「ひらめきアイテム集」などが設けられ、学習を振り返り、深めることができるよう配慮されている。  なお、ウェブマークのあるページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 |
| 学　図 | ○　単元末や巻末に「できるようになったこと」「深めよう」「学年の復習」「今の自分を知ろう」「ほじゅう問題」などが設けられ、学習を振り返り、深めることができるよう配慮されている。  なお、ＱＲコードのあるページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 |
| 教　出 | ○　単元末や巻末に「たしかめよう」「算数ワールド」「学年のまとめ」「ステップアップ算数」「広がる算数」などが設けられ、学習を振り返り、深めることができるよう配慮されている。  　　なお、「まなびリンク」のあるページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 |
| 啓林館 | ○　単元末や巻末に「学びのまとめ」「わくわく算数ひろば」「復習」「もうすぐ○年生」「学びのサポート」などが設けられ、学習を振り返り、深めることができるよう配慮されている。  なお、ＱＲコードのあるページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 |
| 日　文 | ○　単元末や巻末に「まちがいやすい問題」「たしかめポイント」「次の学習のために」「学年のまとめ」「算数マイトライ」などが設けられ、学習を振り返り、深めることができるよう配慮されている。  なお、ＷＥＢマークのあるページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 |